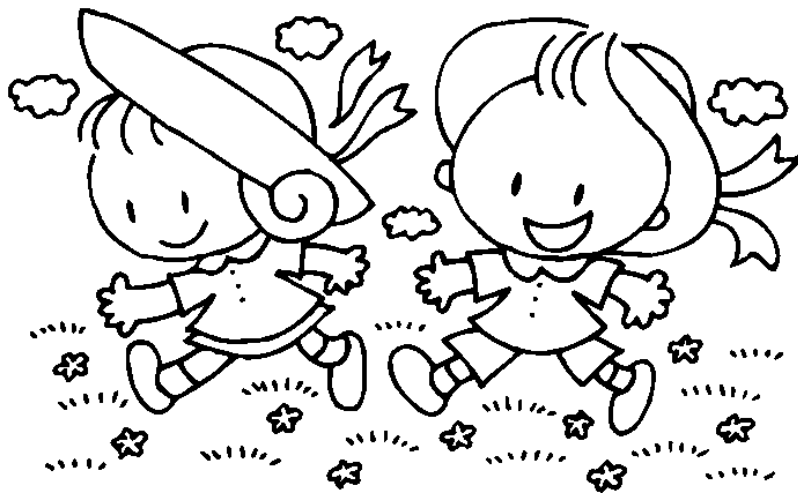


ほいくえん



四日市市

も く じ

・ 一日の保育の流れ（0．1．2歳児）	．．．．．	1
・ 一日の保育の流れ（3．4．5歳児）	．．．．．	2
・ 保育内容	．．．．．	3
・ 特別支援保育 乳児保育	．．．．．	8
・ 保育時間について 延長保育	．．．．．	9
・ 休日保育・病児保育	．．．．．	10

四日市市では、通常保育のほか、延長保育などのさまざまな特別保育や子育て支援事業を行っています。

この冊子は、保護者の方に保育園のことをご理解いただくために作成しました。ご活用いただければ幸いです。

保育園では、子どもたちが楽しく生活し、子ども同士のふれあいの中で意欲的に活動できるよう環境を整え、子どもの発達に応じた保育をおこなっています。

一日の保育の流れ (0、1、2歳児)

登園

保護者と保育者が子どもの心身の健康状態を伝えあいます。

「おはよう！今日も楽しく遊ぼうね！」

遊び

友だちや保育者と遊びます。



おやつ

果物と牛乳で栄養を補います

9:30 ころ

遊び

こころよい雰囲気の中で遊ぶことが、心もからだもすこやかに成長していくために、とても大切なひとときです。保育者と一緒に遊びながら、友だちとも楽しく過ごせるようになっていきます。

食事

個々に合わせて離乳食、幼児食を楽しい雰囲気の中で食べます。いろいろな味に慣れる機会、食べる意欲を大切にしています。

11:15 ころ

午睡

一人ひとりの生活のリズムに合わせて午睡を行います。

(ひるね)

おやつ

身体の成長に必要な栄養を補います。

15:00 ころ

降園

保護者のお迎えを受け帰ります。

一日の保育の流れ (3、4、5歳児)

登園

「おはよう！」朝の出会いを大切に！
持ち物の整理をします。



遊び

情緒の安定をはかり楽しく遊びます。
友だちと遊びながら、自主性、協調性、豊かな感性を養います。

食事

11:30 ころ

楽しい雰囲気の中でのいろいろなものを食べようとする意欲や
関心、マナーも育ちます。

午睡 休息

(3歳児
ひるね)

静かに絵本を見たり、お話を聞いたりなどして
気持ちをやわらげ、休息し午睡をします。

遊び

友だちと誘いあっていろいろな遊びを楽しみます。

おやつ

15:00 ころ

身体の成長に必要な栄養を補います。

降園

楽しかったことを話し合い、明日への期待をもって降園します。
保護者のお迎えを受け帰ります。

保育内容



健康で安全な生活をするために必要な習慣や知識を身につけ、健康な生活に喜びを感じるようにしています。

基本的な生活習慣が身につくようにします

- ・友だちと楽しい雰囲気の中で食事をし、年齢に応じた食事の仕方が身につくようにします。
- ・いろいろな食材を使った給食で、栄養のバランスがとれるよう十分配慮しています。
- ・おしっこやうんちがおむつやパンツに出て気持ち悪いとわかり、取り替えてもらう事でサッパリ感を持ち、しだいに自分でトイレに行けるよう一人ひとりにかかわります。
- ・衣服の脱ぎ着に興味を持ち、やがて着脱を順序よくしたり、暑さ寒さに応じて調節できるように、手助けしたり励ましたりします。
- ・遊びの疲れをいやし心身の発達をスムーズにするために、午睡、休息をそれぞれの年齢に応じて行っています。
- ・手洗いやうがい、歯みがきなどが、健康な生活をすごすために大切であることを知らせます。

全身を使って遊ぶことによって、基礎的な体力やリズム感を養います。
身体を動かすことは脳を刺激し、感覚、神経機能などの発達に良い影響を与えます。



からだづくりをしています

- ・散歩に出かけ、身近な小動物や植物を見たり、触れたりしながら、野原や土手、階段や斜面などを利用して登ったりすべったりします。
- ・とび箱、ブランコ、すべり台、マット、平均台、カラーボックスなどを組み合わせてとんだり転がったり渡ったりして遊びます。楽しく遊ぶなかで足や腕の力などを強くし、からだのバランスや機敏性を養います。
- ・どろんこ、水、砂などの素材で感触を楽しみながら遊ぶことで感性を育みます。

※子どもたちの健康を守るため次のことを行っています。

内科検診・歯科検診・ぎょう虫検査・尿検査

視力検査（4才児）・身体測定

安全についての指導をしています

- ・危険なものや場所について知らせ、遊具、用具などの使い方に気をつけて遊ぶよう指導しています。
- ・園への登降時や散歩などは、子どもたちが交通ルールや社会のマナーを知るよい機会です。時と場所に応じてくりかえし指導しています。
- ・毎月、計画的に避難訓練（火災・地震・不審者対応訓練）を行い、非常時に素早く行動できるようにしています。



遊びは乳幼児期の重要な学習の場であり、心を育てる場です。子どもたちは友だちとかかわり、「おもしろい」「楽しい」というような心が揺り動かされる豊かな体験をする中で、さまざまなことを学びます。

友だちや保育者との遊びを通して、1人ひとりの子どもたちが生きていくための基礎となる力を育てます。

- ・保育者に親しみを持ち安心すると、だんだん周りの子どもたちとも協力し合ったり気持ちを通い合わせて遊ぶ楽しさがわかってきます。

- ・遊びのなかでけんかがおこることもあります。自分のいやだった思いを伝えたり、また、他の子の思いを知る機会にもなります。
- 時には我慢しなければならない事や集団生活のルールにも気づき社会性を育てます。

満足感や責任感を育てます

- ・十分遊んで満足感を味わいます。また、動植物の世話 食事の準備、部屋の整とんを手伝うなど、いろいろな 体験を通して、責任感を育てます。



地域の人々とのかかわりを大切にしています

- ・子育ては家庭と保育園だけでなく、地域の人々にも支えられています。 おじいさんやおばあさん、また地域の子どもたちにも保育園の行事に 参加していただき、人と人の輪を広げる機会をつくっています。

周囲のさまざまな環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを 生活に取り入れていこうとする力を養います。



豊かな自然にふれて遊ぶなかで探求心や感動する心を育てていき ます。

- ・散歩に出かけ、身近な自然に触れ、季節の変化、自然のすばらしさ、不思議さなど に関心をよせていきます。

身近な動植物の世話をすることによって、愛情の芽生えを育てます

- ・季節の野菜を作っています。栽培することにより 生長の変化を知り、収穫の喜びを味わいます。
- ・小動物を育てています。身近な生き物を育てていくなかで 命の大切さを知り、思いやりや愛情をはぐくんでいきます。



形のちがい、数、量、大小などを学ぶ機会を作ります

- ・砂遊びや積み木遊びなどの素材の違う遊びのなかで物の形や色、数、量などに興味を持ち、友だちといっしょに比べたり数えたりしていろいろなことに気づきます。
- ・いろいろなことを体験する中で、「何だろう」「ふしぎだなあ」と興味関心を持ち、工夫したり試したりして思考力を育てます。



人の話を聞いたり自分の思いを伝え合うなかで、生活に必要なことばを身につけていきます。

生活の場面に応じたことばを使うようにしています

- ・生活に必要なことばがわかり、自分のしたいこと、してほしいことをことばで伝えられるようにしています。

聞いたり話したりする機会を多く持つようにしています

- ・人の話を聞いたり、自分の経験した事や思った事を話したりしながらことばのやりとりを楽しむようにしています。

絵本やお話などを通じて言葉への興味を育てます

- ・子どもは、絵本やお話が好きです。絵本やお話などを通してことばの豊かさや美しさに気づきます。
- ・見たことや聞いたことからイメージを広げ、おはなし、紙芝居、劇あそびなどに発展していくこともあります。





感じたことや考えたことを表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い創造性を豊かにします。

音楽に親しみ豊かな心を育てます。

- ・歌ったり、聞いたりして、身体の動きや楽器などでリズム表現を楽しむ。
- ・童謡やわらべうたを歌い楽しむことで、こちよさを知りリズム感が育ちます。
- ・遊びのなかで体験したことを考え、工夫しながら、表現することを楽しみます。

いろいろな音色の美しさやリズムの楽しさに気付くようにします。

- ・音の強弱や速度、リズムや音色のちがいなどを味わいます。
- ・楽器に親しみ、友だちと一緒に表現して遊びます。



子どもらしい様々な表現を楽しむことができるようにします。

- ・クレパス、マジック、絵の具などいろいろな描画材料や、はさみやのりなどの用具の使い方を知って、使ったり、遊んだり描いたり表現する喜びを知ります。

つくりだす力や考え工夫する力を育てます

- ・自然物、包装紙、空き容器、板切れなどを利用して切る・貼る・折る・つなぎ合わせる経験をします。
- ・作ったものを使って遊んだり、飾ったりします。
- ・砂や粘土の感触を楽しみながら遊び、色々な形に変えたり、みたてたりする事でイメージする力や創造する力を育てます。



特別支援保育

一緒に生活する中でどの子ども友だちが大好きになるようにしています。

- ・ 保育園では発達に心配のあるお子さん（ことばが出ない、動きが激しくて目が離せない、体が不自由、コミュニケーションや社会性行動に課題があるなど）が、それぞれにもっている可能性を引き出すため、一人ひとりの発達に応じた保育を行います。また、友だちと一緒に生活をする中でお互いに遊ぶ楽しさを知り、生活していく力をつけていきます。

※児童発達支援センターあけぼの学園では、乳児期から保護者と一緒に通い、お子さんにあった保育、発達支援を行っています。

※相談等については

四日市市ホームページ>子育てエンジョイ>子どもの発達に心配がある時
をご覧ください。

乳児保育

くつろいだ雰囲気の中で、赤ちゃんが安心して過ごせるようにしています

- ・ 笑顔で受け入れ話しかけながら、子どものさまざまな欲求を適切に満たします。
- ・ 部屋には握ったりしゃぶったりできる月令にあったおもちゃや、登ったり、降りたりするあそびが楽しめるような遊具を用意しています。
- ・ 外気浴や散歩を通して自然に触れ、色々なものに興味を持つ芽を育てます。
- ・ 授乳は、ミルクが主ですが冷凍母乳も扱っています。一人ずつ抱っこしてゆったりと飲ませます。離乳食は、お子さんの月令や様子に応じてご家庭と協力して進めていきます。



保育時間について

◎クラスを主体とした保育時間は、8時30分～15時30分

※早朝および夕方は合同クラスの保育をしています。

※土曜日は8時30分～12時 です。

【 保育標準時間 】（開園時間）は、7時～18時。（園によっては7時30分～18時）

【 保育短時間 】は、8時30分から16時30分。

※それぞれ認定された区分の保育時間となり、その時間を超える保育が必要となる場合は延長保育料が別途必要となります。

延長保育

・保護者の勤務時間の都合などで18時以降も保育が必要な場合に、19時までの延長保育を行います。

※実施園は、[四日市市ホームページ](#)>[子育てエンジョイ](#)>[保育園幼稚園などに通う](#)>

[保育所・認定こども園（保育認定）](#)>[施設案内](#) をご覧ください

※保育料とは別に延長保育料が必要です。

休日保育

- ・認可保育園がお休みとなる日曜日や祝日等に、恒常的にお仕事等により（冠婚葬祭等の一時的、緊急的な場合は除きます。）ご家庭で保育できない保護者に代わってお子さまをお預かりします。

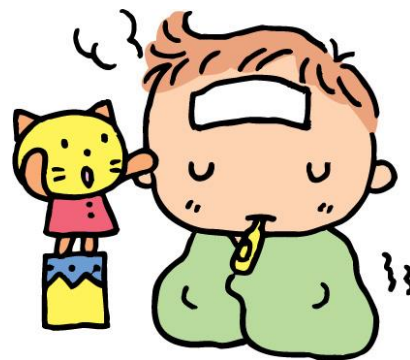
※実施園等は、[四日市市ホームページ](#)>[子育てエンジョイ](#)>[保育園幼稚園などに通う](#)>[その他特別保育等](#)>[休日保育](#) をご覧ください

病児保育

- ・お子さんが病気療養中、もしくは病気がほとんど回復している状態で、保育園、幼稚園、認定こども園、小学校での集団生活には不安があり、保護者の方が仕事に出なければならない場合などに一時的にお子さんをお預かりします。

※利用には事前登録が必要です。詳細については

[四日市市ホームページ](#)>[子育てエンジョイ](#)>[こどもを預けたい・サポート](#)
>[四日市市内の病児保育室](#)をご覧ください。



一時保育

- ・ 仕事や冠婚葬祭、産前産後のケア、保護者の休息のために、一時的にお子さんをお預かりします。

※実施園は、四日市市ホームページ>子育てエンジョイ>保育園幼稚園などに通う>

その他特別保育等>一時保育 をご覧ください。



あそぼう会



離乳食をはじめたいんだけど・・・
食事の量が少ないんだけど・・・
言葉が遅いんじゃないかと心配なんだけど・・・
ちっとも親の言う事を聞いてくれないんだけど・・・
近所に友だちがいないので心配なんだけど・・・
家族が病気になり看護が必要なんだけど・・・

保護者の方のこうした悩みに、園長はじめ保育士がご相談に応じるためすべての公私立保育園では、「あそぼう会」を開催しています。

子どもの遊びの場として、保護者同士の情報交換の場として、育児、子育ての相談の場としてご利用ください。

園にお越しいただけない場合は、電話でもご相談に応じています。

子育て支援センター



楽しんで子育てができるように相談に応じたり、地域の子どもに遊びの場を提供したりしています。また、保護者同士の交流の場としても活用できます。定期的に講座や講演会なども行っています。

「子育て支援センター」「あそび会・あそぼう会」は原則として事前の参加申込みは必要ありません。園によって開催日時が異なります。詳しくはそれぞれの園へお尋ねください。

※「四日市市ホームページ>子育てエンジョイ>子育てを楽しむ

>[子育て支援センター][あそび会・あそぼう会」にも掲載されています。

上記のほかにも、さまざまな保育メニューや子育て支援を行っています。上記までの内容は、変更されることもあります。

詳しくは市のホームページをご覧ください。

また、保育幼稚園課（TEL 354-8172）やお近くの保育園へお尋ねください。